

2010年1月28日
新日本製鐵株式会社

自動車用冷延鋼板を製造・販売する合弁事業の実施について

新日本製鐵株式会社（社長 宗岡 正二）と TATA STEEL LIMITED（Managing Director H.M.Nerurkar、以下 TSL）は、インドにおける自動車市場の発展に伴い中長期的な成長が見込まれる高級自動車用鋼板需要に応えるため、自動車用冷延鋼板を製造・販売する合弁事業を TSL の Jamshedpur 製鉄所で実施する方針、及び、当該事業の枠組みを固めました。

今後、両社は、詳細条件の詰めを行い、本年 6 月を目途に正式契約を締結のうえ合弁会社を設立し、2012 年度中の営業運転開始を目指します。

当社は、2000 年に稼働した TSL の冷延工場に関するエンジニアリング協力以来、自動車用冷延鋼板に関する技術協力など自動車用鋼板分野での協力に加え、TSL の既存製鉄所の能力拡張及び新一貫製鉄所の基本構想策定等、幅広い分野での協力を行って参りました。

今回の合弁会社は、この協力関係を深化させ、具体的な共同事業の実施に取り組むものがあります。

両社は、将来に向け、自動車用溶融亜鉛メッキ鋼板や上工程分野等、さらなる協業の可能性について、幅広く継続協議していくこととしております。

当社と TSL は、合弁事業の実施により、日系をはじめとするインドの自動車メーカーの高級冷延鋼板の現地調達化ニーズに的確に対応し、インドにおける自動車生産のさらなる拡大に貢献していく所存です。

以上

合弁会社の概要（予定）

- ① 目的 主としてインド国内における高級自動車用冷延鋼板需要への対応
- ② 事業内容 自動車向けを中心とした冷延鋼板の製造・販売
- ③ 製品 冷延鋼板（主として自動車向け）
- ④ 設備（年産） 連続焼鈍（C.A.P.L.）：60万トン
- ⑤ 技術 当社保有の高級自動車用冷延鋼板（外板、高張力鋼板を含む）製造技術
- ⑥ 従業員数 約200名
- ⑦ 出資比率 TATA STEEL LIMITED : 51%
当社 : 49%
- ⑧ 立地 TATA STEEL LIMITED Jamshedpur 製鉄所構内（Jharkhand 州）
- ⑨ 想定スケジュール 2010年6月を目途に合弁契約締結
2012年度末までに生産開始

連絡先 新日本製鐵株式会社 総務部広報センター 03-6867-2135、2146、2147

(参考) TATA STEEL LIMITED の概要

- (1) 設立 1907 年 8 月 26 日
- (2) 操業開始 1911 年 12 月 2 日 初出銑
- (3) 本社所在地 インド マハーラーシュトラ州 ムンバイ
- (4) 製鉄所所在地 インド ジャールカンド州 ジャムシェドプール



- (5) 資本金 620.3 億ルピー (約 1180 億円)
- (6) 株主 タタ・グループ (31.25%)
ボンベイ株式市場上場
- (7) Chairman R. N. Tata
- (8) Managing Director H. M. Nerurkar

(9) 経営状況 (単独)

(1Rp=1.9円で換算)

	2007年度	2008年度
粗鋼生産	501万トン	565万トン
売上高	1969億Rp (3741億円)	2432億Rp (4621億円)
税前利益	707億Rp (1343億円)	732億Rp (1391億円)
純利益	469億Rp (891億円)	520億Rp (988億円)
総資産	4707億Rp (8943億円)	5874億Rp (1兆1160億円)
純資産	2730億Rp (5187億円)	3018億Rp (5734億円)



TSL Jamshedpur 製鉄所



同 冷延工場